

王朝人遊行の道

# 「千代の古道をたどる」活動報告

～梅宮大社から大覚寺～

担当4班

大覚寺勅使門

- 実施日：2020年11月27日（金） 天候：晴れ時々曇り 参加者：77名
- 集合場所：阪急「松尾大社」駅 ■集合時間：10時00分 解散時間：14時00分頃
- 行程：松尾大社駅→梅宮大社→齋宮神社→遍照寺→広沢池（トイレ・昼食）→兒神社→大覚寺拝観と大沢池散策（自由解散）

千代の古道をたどりながら、穏やかな小春日和の京都・嵯峨野を歩きました。千代の古道とは、在原行平が嵯峨天皇を偲んで詠った和歌「さかのやま 御幸絶えにし芹川の 千代の古道跡はありけり」から来ていると言われます。梅宮大社から広沢池までは住宅街で車の往来も多く、行平のような感慨に浸ることは出来ませんでした。所々にある歌碑を読みながら楽しく歩きました。特に紫式部と清少納言の和歌から、平安時代は女性優位だったのかなと感じました。

広沢池は別名遍照寺池とも呼ばれ、元々は遍照寺の庭池として造営されたと伝わります。紅葉のピークには少し早かったですが、穏やかな日差しの中でのんびり昼食をとりました。池のほとりには遍照寺を建立した寛朝大僧正が昇天された後、僧正を追って池に身を投げた侍児を祀る兒（ちご）神社があります。僧正が座禅している間傍らで侍児が腰かけていたという石椅子が境内にひっそり安置されていました。

広沢池から大覚寺まではのどかな田園風景が広がり、いにしへの千代の古道の雰囲気を感じながら、ゆったり歩くことが出来ました。大覚寺ではお堂を一通り拝観した後、日本最古の人工庭池である大沢池を散策し、三々五々帰路につきました。元気な人は嵐山まで歩き、秋深まる京都を満喫されたと思います。お疲れさまでした。



梅宮大社



齋宮神社



遍照寺



広沢池から愛宕山を望む



広沢池でのんびり昼食



のどかな嵯峨野の風景



大覚寺・心経宝塔



大沢池からの大覚寺  
(10/14下見時)

## ■観察した草花（千代の古道の道中のみ）

- ・ユズリハ ・サザンカ ・ヤブラン ・ハキダメギク ・クロガネモチ ・ヒメツルソバ
- ・カラムシ ・ツブキ ・センダン ・オオモミジ ・ツブラジイ

## ■一口メモ

- ・諏訪さんの説明が分かりやすく、大変よく理解できました。皆さん納得されたと思います。ありがとうございました。
- ・お天気が良くて絶好のハイキング日和でした。のんびりと古の道を歩いて気持ちよかったです。
- ・広沢の池を眺めながらお昼のお弁当を食べたのが良かった。道沿いの野菜販売も面白かった。
- ・大覚寺は時代劇のロケ地としてよく利用されるだけあって、往時の雰囲気が残っていた。